

## 事業者向け

## 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	<input type="radio"/>		安全面を考え、自身で動く利用児と動きが少ない利用児のスペースを分けて確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		朝の活動や食事の時間など、利用児一人につき職員が一人つけるようにしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		施設は全面バリアフリーとし、フロア全体が見渡せ、目も声も届きやすいようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		毎日のフロア、共有空間の清掃・消毒、利用児が共有するおもちゃ等の消毒を行っている。転倒しやすい子も多いため、クッション性の強いマットを敷いている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		課題が見えた時に、個々の職員が改善案を考え発信するようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		前年度の評価表のご意見で、ご家族が集まれる場所があると良いとのことで、今年度コロナが5類となったことでやっと夏祭りを開催することが出来た。数年ぶりの行事開催で、ご家族様が集まれる場が出来た。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者評価ができていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		毎月職員会議の際に、研修の場を設けている。職員がローテーションしながら、専門分野で講師を務めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		新規での利用児については、各専門スタッフ(児童発達支援管理責任者、保育士、看護師、機能訓練士)がそれぞれの専門分野でアセスメントを行い、共有して全体で計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>	現在、自施設では必要としていない。

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		就学に向けての力をつけることを重点とし、行っている。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		保育士、児童指導員、作業療法士が中心となり、利用児に合った活動を立案している。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期曜日で利用している利用児が、重複しないように考えている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個人の目標と集団でも目標も考えながら作成している。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員全員で内容を共有できるようにしている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りを記入し、職員全員で内容を共有できるようにしている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を共有するようにしている。検証・改善点が急を要する場合はその場で、そうでない場合は毎月のケース会議で取り上げている。
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		判断はしていると思うが、利用児や保護者のニーズに沿ってできているか、支援者目線になってしまっていないかが不安になる時もあるので更なる共通理解が必要。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		幼稚園や保育園と並行通園している利用児については、互いに様子を共有したり見学を行ったりした。
23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		様々な機関と連携している。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		必要時、連絡を取り指示を仰いでいる。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		通信を交換し合ったり、支援方法の共有をさせて頂いたりしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		年長児については、特別支援学校の担当者と情報共有を行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		リハビリの行い方など、機関からも保護者を通して助言を頂いたり資料を頂いたりしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		コロナの影響で機会は少ないが、公園などに出かける際には機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	コロナの影響で機会が持てていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートやLINEメッセージ、電話、送迎時に、随時お互いに利用児の様子を伝え合える関係性を築いていると認識している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在、ペアレント・トレーニングを必要とする利用児がいないと認識しているが、見直しをしてみても、必要だと考えれば行っていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にチェック表を用いて、伝え忘れがないように行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		説明し、互いに意見を出し合いながら、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日頃から、世間話も含め、保護者との会話を大切にしている。その中で、利用児の話もしながら、お互いに意見を出し合い、日々の様子で気になる点があればすぐに伝えるようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度、夏祭りを行い、親子で参加して頂くことで、保護者が集まれる場を設けることが出来た。

	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		職員の勤務調整を行うなどしながら、迅速に可能な限り対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		通信は月に1回発行し、SNSも利用しながら活動内容や中の様子が伝わるようしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		利用児の日中の様子を、写真や動画で撮影し、保護者に送っている。背景に個人情報が移り込まないよう気を付けている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		秋に、事業所利用児の引き渡し訓練を実施した。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		看護師を中心に対応等共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、該当する利用児がいないが、今後該当することがあれば対応していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		重大と感じる事例については会議にあげ、全体で対策を再考案して対応している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員研修の中で、年に1回以上行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		医療的ケアの際や、座位保持に必要となることが多いので、状況や強さなど十分な説明をし行っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。